

＜施策イメージ＞

- ・企業と学生のマッチング支援（就職希望率と就職率のギャップを埋める）
- ・地元企業の情報発信（（仮称）みらいワークスタジアム事業）
- ・U・Iターン施策の充実
- ・大学生等を対象とした地元企業でのインターンシップの強化
- ・県外就学者への地元企業への就職促進
- ・BCPニーズ調査
- ・本社機能・研究開発機能・支店機能等の誘致
- ・政府機関の誘致（特に環境関連）
- ・海外人材の研修機関の連携強化
- ・多様な働き方のできるテレワークの推進
- ・地域産業の競争力強化（創業支援、金融機関の支援体制整備）
- ・アジアの環境関連人材の育成
- ・地（知）の拠点大学による地方創生

【委員意見】

- ・北九州の住みやすさをアピールするロールモデルの発信
- ・U・Iターン希望人材の売り込み
- ・中小企業は採用、人材育成の力が弱い
- ・高齢者を活かしたサービス業の構築
- ・新卒者の待遇改善
- ・産業の高度化やつなぎあわせる人材の育成
- ・デザインやクリエイティブ分野の創出

しごと

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術力の高い中小企業 ・海外生活インフラビジネス ・豊富な人材（理工系卒業者 約4,500人/年） ・環境技術が優れている ・政令市で1番安い工業用水 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス産業が少ない ・若い人（特に事務系）の就職の受け皿が少ない ・研究開発部門が少ない ・デザイン、クリエイティブ分野が弱い
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPで本市に進出した企業：9社 ・高校生の市内就職率：60.9%（市内就職希望率：67.0%） ・大学生の市内就職率：23.1%（市内就職希望率：31.0%） <p>【高校・大学生等の地元就職に関する意識調査より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある市内企業を知らない ・市内求人情報がわからない ・市外に北九州市の就職相談窓口がない ・学生が希望する職がない 	

＜施策イメージ＞

- ・立地企業の受け皿となる優良なオフィスの供給を促すインセンティブ
- ・国内24時間運用を活かした空港の利活用の促進
- ・多様な交通ネットワークを活用した物流拠点の形成
- ・東九州自動車道の開通を見越した集貨・創貨

【委員意見】

- ・環境を目玉にした研究開発部門の誘致
- ・未利用地を活用した施策
- ・セキュリティ等を備えたオフィスビルの整備

女性・若者の定着を目指して

＜施策イメージ＞

- ・周辺自治体も含めたにぎわいづくりの推進（フィルムコミッション、COOL北九州、MICE）
- ・安全・安心対策の推進（政令市第3位の安全な都市）
- ・海外からの観光客誘致
- ・都心の遊休資産の有効活用（リノベーションなど）
- ・婚活支援、多子世帯支援

【委員意見】

- ・若者がワクワクするまちづくり
- ・マスコミを活用し、北九州ブランドやまちの良さなどの情報提供、PR
- ・交流人口の増加
- ・北九州に眠った様々な資源を活用し自活する
- ・子育て、教育を対外的にPRできる具体的な施策

まち

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境施策での評価（OECD） ・BCPの拠点、情報拠点に最適な都市 ・24時間運用可能な空港 ・地震などの自然災害が少ない ・東九州道開通による交通ネットワーク強化 ・アジア諸都市とのフレンドリーな関係 ・安価な生活コスト ・フィルム・コミッション実績（「東京ドラマアワード2014」特別賞） ・リノベーション技術による遊休地の活用 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいに欠ける ・都心機能が分散 ・商店街の空洞化 ・治安が悪いイメージ ・若い人向けのイベントや商業施設が少ない ・オフィスビルが需要とマッチしていない
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地の平均地価が安い：政令市1位 ・民営賃貸住宅の家賃が安い：政令市2位 ・都市公園数：政令市1位 	

ひと

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀な技術者等の人材確保が容易 ・合計特殊出生率が高い（H25 1.55） ・子育てのしやすいまち（NPO調査で3年連続、政令市1位） ・待機児童ゼロ ・女性の活躍（政策決定等に係る会議における女性委員の参画率43.8%） ・女性の初婚年齢が若い ・学生などの若手人材が豊富 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京や福岡市に人材が流出 ・高齢化の進行（高齢化率政令市1位） ・男性の育児休暇取得率が低い（H21 市：0.6%、国：1.2%）
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uターン希望者：17% ・市内に10の大学があり、21,000人の学生を有する 	